

①学習課題（中学校 1 年生）



【国語】

＜内容＞

○教科書の「言葉を集めよう もっと『伝わる』表現を目ざして」（P72）を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。

＜取り組み方＞

① 教科書 P72 を読み、「もっと伝わる」表現とはどのようなものか考えてみよう。そして、上の絵を参考として、対象となる食べ物を決め、特徴を伝えるための観点を立てよう。

- ・例) 食べ物……オムライス、エビフライ、焼き鳥、ケーキ、ハンバーグ、など
- ・例) 観点……味、食感、見た目、かおり、値段、栄養、食材、など

② ①で決めた「食べ物」について、どのような事柄を挙げれば「もっと伝わる」表現になるか、言葉をできるだけ多く集めよう。

- ・例) 観点ごとに思いつく言葉を挙げる
似た意味の言葉、反対の意味の言葉などを考える
※P72 上の絵を参考にしましょう。

※P37 の「マッピング」を使って、具体的な事柄を挙げてもよいでしょう。

③ 集めた言葉を使い、好きな食べ物の紹介文を百字程度で書きましょう。

- ・例) 母が作るオムライスは、赤いケチャップと黄色い卵があざやかな色合いで、目で楽しめます。温かいチキンライスをスプーンですくうと、香ばしいかおりが感じられ、食欲をそそられます。口の中に入れると、濃厚な味が広がります。

④ ③で書いた文章を、お家の人に伝えてみよう。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※④について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

【社会】

＜内容＞

【３回連続で取り組んできた課題の最終回です。下記の＜取り組み方＞に示された方法に沿って取り組みましょう。】

アジア州内の各地域の特色を大きくとらえ、「アジア州とはどのような州であるか」について、取組シートやノートにまとめてみよう。

＜取り組み方＞

- (1) 西アジアの経済と人々の暮らしについて、教科書 P54～55 や地図帳を参考にしながら調べ、取組シートやノートに記述しましょう。
- (2) (1)の学習課題及び過去２回の学習課題において、アジア州の各地域の特色を整理してきました。それらをふまえながら、「アジア州とはどのような州であるか」について、取組シートやノートにまとめましょう。

＜学習のヒント＞

- (1) 経済については、「石油資源」に着目しましょう。また、人々の暮らしについては、「気候」や「宗教」に着目しましょう。
- (2) これまで取り組んできた取組シートやノートを見返して、共通点や相違点に着目しながら整理しましょう。

【数学】

＜内容＞

1 次式と数の乗法や除法について考えよう。

～文字を含む式の乗法や除法はどのように計算したらよいか？～

＜取り組み方＞

- ① 教科書 P78 の Q に取り組んでみよう。
- ② ① で作った式を計算してみよう。また、計算の方法を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ③ ② でまとめた方法で、教科書 P79 の問 3 に取り組んでみよう。
- ④ 教科書 P80 の例 7 を参考に、「 $-10a \div 4$ 」を 2 通りの方法で計算してみよう。
また、どちらの方法が計算しやすいか、「取組シート」やノートに自分の考えを書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ⑤ 教科書 P80 の問 6 に取り組んでみよう。

＜学習のヒント＞

- ① まず、1 パック a g のいちごを 4 パックずつ箱に入れたときの重さを表す式を考えてみよう。それが、5 人分必要ですね。
- ② 教科書 P78 の例 3 を参考に、どのように計算しているかをまとめてみよう。
乗法にはどんな計算の法則があったかな。
- ③ 乗法の計算法則を使うと、数どうしをかけることができますね。
- ④ それぞれの方法には、どんな長所や短所があるでしょうか。
例えば、わられる式の係数やわる数が分数や小数のときには、どちらの方法が適しているでしょうか。また、整数のときは、どちらの方法が計算しやすいでしょうか。
- ⑤ 問題をみて、④ で考えたどちらの方法で計算するとよいか考えながら計算してみよう。計算の方法によって、 $\frac{3}{2}x$ と $\frac{3x}{2}$ のように答えの形が異なることもありますが、同じものとして捉えます。

【理科】

＜内容＞

◆塩化ナトリウムがとける様子を、モデルを用いて考えてみよう。

＜取り組み方＞

① 教科書 P147 の図 28 にある塩化ナトリウムをモデルで表すとどのようなになるかを、
＜学習のヒント＞をみて、確認しましょう。

② 次の状態をモデルで表してみよう。

A：塩化ナトリウムが水にとけて、半分の大きさになったとき

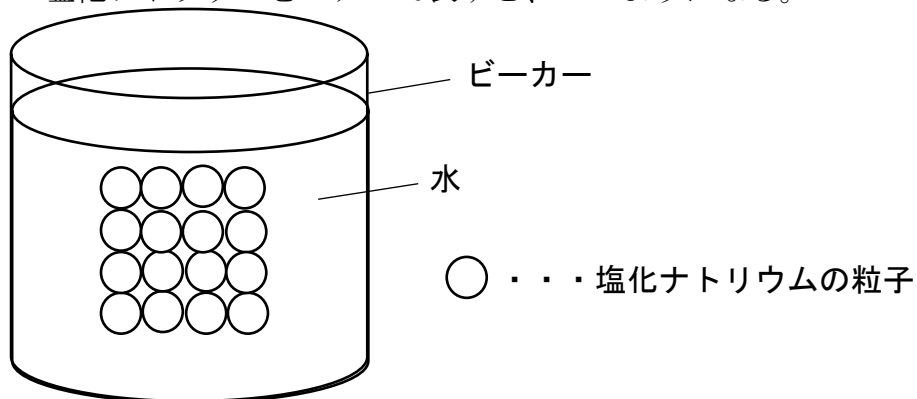
B：塩化ナトリウムがすべて水にとけたとき

＜学習のヒント＞

① モデルについて確認しましょう。

【モデルについて】

- ・ 目に見えないものを、目に見えるように大きく示したものをモデルという。
- ・ 塩化ナトリウムも含めて、物質は目に見えない小さな粒（粒子）が集まってできている。粒子は、ふつうの顕微鏡では見えない極めて小さい粒だが、たくさん集まって目に見える大きさになっている。
- ・ 固体の塩化ナトリウムをモデルで表すと、このようになる。



② モデルで表すときに次の点に着目してみましょう。

- ・ とけると、粒子はばらばらになって、水の中で一様に広がる。

⇒粒の様子はどのようなになっているか。

- ・ とける前ととけた後の全体の質量は変わらない。

⇒粒子の数はどのようなになっているか

【英語】

＜内容＞

教科書 P34 の「アクションコーナー」に取り組みましょう。

＜取り組み方＞

★音声を聞いて取り組む問題です。



- (1) 右のQRコードを読み取り、Play It の①～⑱までの絵を見ながら、

Action Corner(mp3)の音声を聞いて 英語を言ってみましょう。

※QRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。

http://www.kairyudo.co.jp/contents/05_kyoiku/support/chu/eigo/jidoseito/202004.htm

- (2) Let's chant(Play It)を聞きながら、リズムに合わせて英語を言ってみましょう。

- (3) 巻末資料⑩の「アクションカード①～⑱」の絵だけを見て、その絵に合う英語を言ってみましょう。カードを裏返して、英文を確認してください。あなたの言った英語と、合っていましたか？

- (4) 自分の生活に関係のある事柄や書けるようになりたい英語表現をいくつか選んで、英文の書き方に気をつけながら「取組シート（外国語 4 線中学校）」または「家にある英語のノート」に書いてみましょう。

★音声を聞かなくても取り組むことができる問題です。

- (1) Play It の①～⑱までの絵を見ながら、どんな場面かを想像して、英語を読んでみましょう。

- (2) 巻末資料⑩の「アクションカード①～⑱」の英語だけを見て、その英語に合う日本語を言ってみましょう。カードを裏返して、絵を確認してください。あなたの言った日本語は、合っていましたか？

- (4) 自分の生活に関係のある事柄や書けるようになりたい英語表現をいくつか選んで、英文の書き方に気をつけながら「取組シート（外国語 4 線中学校）」または「家にある英語のノート」に書いてみましょう。

＜学習のヒント＞

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご利用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html

＜配信内容＞

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」

「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」など



※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。